

## 県内主要内湾における有機スズ化合物による内分泌攪乱作用の実態（イボニシの雌の雄性化現象）

ね ら い：本県内湾におけるイボニシの雌の雄性化現象の実態を明らかにする。

成果の特徴：地点別の雄性化率と RPL Index(雌の平均ペニス長/雄の平均ペニス長×100)を明らかにした。

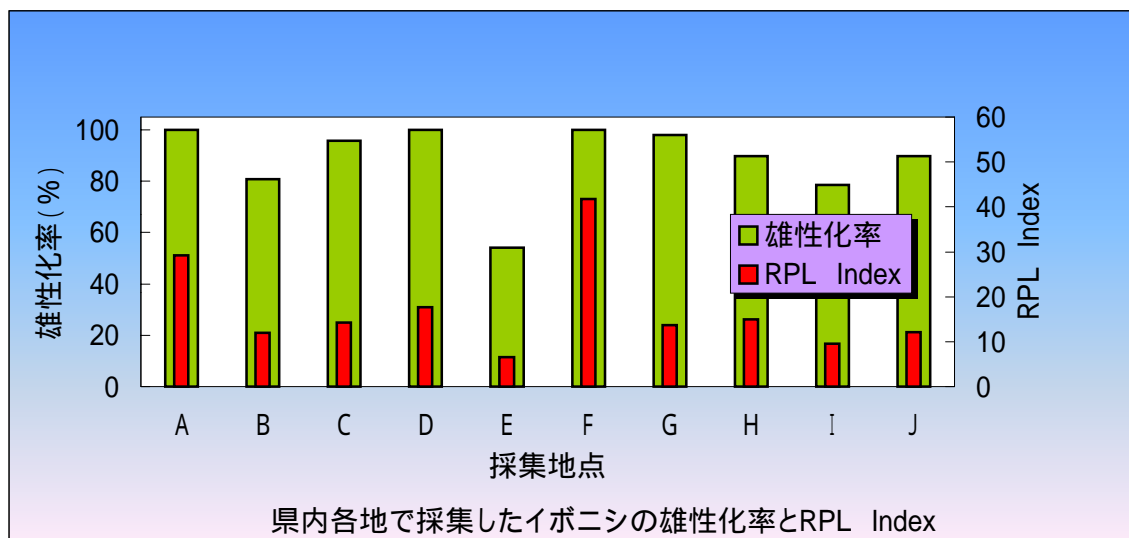
成果の活用面：有機スズ化合物濃度は今後低減していくことが予測されることから、将来同様の調査を実施することにより生物への影響がどのように変化したのか検証できる。

### [具体的データ]

調査した地点の雄性化率は 54.1～100%、RPL Index は 6.6～41.8 であった。

これらの値が低かった E 地点は外海に直接面する地点であり、有機スズ化合物の影響が小さかったものと判断された。逆に RPL Index が最も大きな値となった F 地点は閉鎖性の強い内湾であった。

イボニシの雄性化現象に関する全国的な調査や隣県の調査結果が公表されているが、今回の結果はそれらと比較して同等のものとなっている。



担当者	漁場保全部主任専門研究員 松山 和弘 0193-26-7919 FAX0193-26-7920
連絡先	〒026-0001 岩手県釜石市大字平田第3地割75番3号
	ホームページ <a href="http://www.pref.iwate.jp/~hp5507/">http://www.pref.iwate.jp/~hp5507/</a>